

# はあとメール 第36号

発行人 〒602-8453  
 京都市上京区笹屋四  
 丁目269-4 正千第2ビ  
 ル5階 ☎ 075-463-  
 2263  
 住田正則

みなさん、こんにちは！はあとメール代表の住田正則（行政書士・社会保険労務士）です。

はあとメールは、『地域づくり』を目指します ②

はあとメールと『地域づくり』についての考察、第3弾です。



さる7月20日に、はあとメールスタッフの住田・橘の2名で、福知山市の「京都府天田郡みわ・ダッシュ村」というところを訪ねてきました。

「みわ・ダッシュ村」は、京都市内から車で約1時間半の旧三和町にあった広大な耕作放棄地（4.5ヘクタール、甲子園球場5つ分）を、村長となる清水三雄さんが買い受け、さまざまな苦勞を乗り越えて開村した農業生産法人です。

現在、はあとメールでは6次産業化制度という、農業を中心に工業・商業を結びつけた新しい産業を生み出そうとする取り組みに着目しており、それについての  
 実地の見聞を得ようと「みわ・ダッシュ村」をご訪問させていただいたのです。

～文通で、あなたの暮らしにうるおいと安心を～  
 「市民のみなさんと法律家（専門家）の双方向の交流を、  
 文通によって実現していきます」



村の案内と説明をしていただいたのは、業務統括責任者の森本修さんでした。森本さんは、京都市内の企業をリタイアした後、郷里の福知山に戻っていたところを清水村長と出会い、現職に就かれたとのこと。真っ黒に日焼けした顔がとても印象的でした。

森本さんは、「みわ・ダッシュ村」の金看板であります“完全無農薬・無化学肥料の有機農業”を維持しつつ、お米やサツマイモなどの栽培に取り組む大変さとやりがいについて語ってくださいました。各作物の生産量を安定させようと、販路開拓にも乗り出していく予定であると…。実際、有機・無農薬で農作物を作ろうとすると、どうしても価額は一般のものよりも高くなりがちです。これをいかに消費者の方々にご理解いただくかは、

難しい課題であるなあと、私たちも思いました。



また、森本さんは、「みわ・ダッシュ村」で採れた「コガネセンガン」という品種のサツマイモを原料とした焼酎もご紹介してくださいました。その名も、『京都府天田郡みわ・ダッシュ村物語』。村長さん以下、村の方々の熱い思いが伝わってくるネーミングです。飲み口はフルーティでなめらかな喉越しの、実にうまいお酒らしいです。残念ながら、私たちは車で来ていたこともあり、試飲はできませんでした。…いえ、車うんぬんの以前に、実はこの焼酎は現時点ではわずかな数しか生産していないので、軽々しく飲めないものだったから、というのが真相ですが…。

森本さんからのレクチャーの後、「みわ・ダッシュ村」の中を見学して回りました。お米を作っている田んぼは別のところにあるようでしたが、トマトや玉ねぎが植わっている畑や、芋を植える予定の空き畑などを見ました。

村内には、ギネスブックにも申請中の、世界一の巨大ブランコがあり、はあとメールのおっちゃん2人もひととき子どもに返ってユーラユーラと空中散歩を楽しみました。

他にも、いまや絶滅危惧種となってしまったメダカのための「メダカの学校」や、柵の中に放し飼いになっているヤギたちなど、広々とした敷地と、はるばると広がる大空のもと、生き物たちと存分に関わることができました。

「はあとメール」の具体的な活動方法・活動内容について、改めてご説明いたします。

基本的に、毎月1回（15日前後）に、法律ひとくちメモやくらしのお役立ち情報などを盛り込んだ「はあとメール」を、本活動の趣旨にご賛同いただきました方々（「はあと会員」とお呼びします）へ向けて郵送いたします。会員の方々は、スタッフへ向けてご質問・ご相談などのおたよりを送ることができ、それに対してのお返事をスタッフが書く、という流れで、双方の心のふれあい・意思疎通をはかります。

また、会員の方々は、スタッフが開催する無料相談会やセミナーに優先的にご参加いただくことができ、必要に応じて遺言・相続などの業務依頼をスタッフに発注することができます。すでに心安くしているスタッフへの依頼ですから、その安心感は格別なものになるのではないかと思います。

☆「はあと会員」会費 → 無料です！！

現在、はあとメールは、スタッフから集めた会費及び寄付金によって運営されており、「はあとメール」もその予算の範囲内で発行しています。

よって、少なくとも現時点においてはスタッフ以外の会員の方々には会費をご負担いただくことなく、お申し込みいただくだけで、すぐに「はあとメール」をお送りいたします。さあ皆さん、ぜひ「はあと会員」の輪の中にお入りください！

それと同時に、皆さまの善意による寄付を広く受け付けております。いただきました寄付金は、はあとメールの今後の活動をよりよくするための費用として大切につかわせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします！

#### ☆ 会員へのサービス内容

「はあとメール」発送、質問・お便りへのお返事、相談会・セミナーへの優先ご招待、業務お引き受け（別途有料）…等

「はあとメール」バックナンバーのお求めにも応じます。お気軽にご連絡ください！

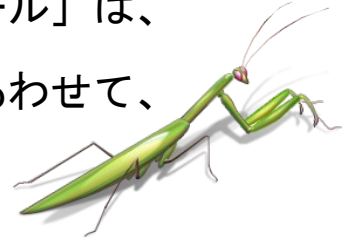
（住田 正則）



あなたのご参加を、心よりお待ちしております

## ～みなさんの「作品」を募集します～

いま、あなたが手にしている小冊子「はあとメール」は、  
郵送・京都市全域の老人福祉センターでの配架等をあわせて、  
毎月約300部を発行・配布しています。



けっこう多いでしょ？！

この「はあとメール」の紙面に、あなたの「作品」を掲載してみませんか？

「作品」のジャンルは、絵手紙・一筆・俳句・川柳・短歌・作文・アート・などなど、あなたの作ったものであれば、特に問いません。

あなたからの応募を、心よりお待ちしております！！

◇「作品」送付先◇

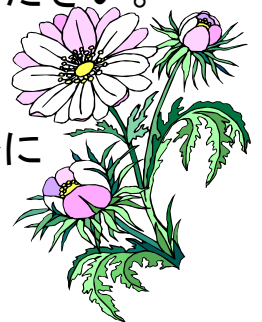


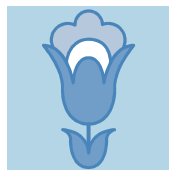
02-8453 京都市上京区笹屋四丁目269-4

正千第二ビル5階 はあとメール 住田正則 まで

※「作品」をお送りの際は、お名前・ご住所・連絡先を添えてください。  
必要に応じて、「作品」掲載の際のペンネームもお書きください。

※「作品」のご返却を希望される方は、お送りいただく際に  
その旨お書き添えください。





## 終い支度のおすすめ①

残暑の折 皆様いかがお過ごしでしょうか

『終い支度のおすすめ』を書かせて頂きます

リサイクルアドバイザーの谷口摩雄です

今回より複数回に渡り、最近、問題になってきております、遺品整理の家族の負担に関して書かせて頂きます。

日本は近年、少子化が進み、家族の繋がりが薄くなってしまっていると言われていますが、遺品整理に関しても顕著に表れております。

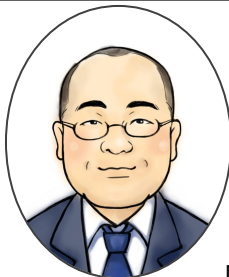
昔は兄弟、親戚も数多く、亡くなられた方の遺品整理は、そのご家族が皆さんでされる事がほとんどでした。

当然ながら負担はあれど、人数が揃う事で思い出話をしながら、男手もあり、家族行事の一つだったのかも知れません。

しかし、高齢化が進み、人数も集まりにくくなってしまった昨今では、直系の子息単独での整理になってしまい、大変なご負担になっております。また、片付け作業だけではなく、昔と違い、処分自体にもお金のかかる時代です。

そこでご本人様による終い支度のおすすめが、残された御家族の大きな助けになります。

++



行政書士  
社会保険労務士

「ひとが大事。」の夕映舎  
すみだ まさのり

**住田 正則**

連絡先： 075-463-2263

家計簿、遺言書、相続、リサイクル相談・・・

「くらし」にまつわるいろいろなご相談に、  
わたしたちがおこたえいたします！



家計簿診断からリサイクル査定まで  
リサイクルアドバイザー  
ファイナンシャルプランナー

ライフコンシェル  
たにぐち まお

**谷口 摩雄**

連絡先： 075-200-9150